

岐阜連携都市圏を知ろう!

■連携中枢都市圏ってそもそもどんなもの?

「連携中枢都市圏制度」とは、人口減少・少子高齢化社会にあっても、地域を活性化し、経済を持続可能なものとして、地域の住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするために、中心となる都市が近隣の市町村と連携して、一定の圏域人口を有し、社会経済を維持・発展させるための拠点を形成することを目的とする制度です。

現在、岐阜市を中心都市とする「岐阜連携都市圏」では、2017年7月に岐阜市と山縣市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町で締結した連携協約に基づき、様々な分野において連携が進められています。



週末のお出かけに 圏域市町のイベント&スポット



かつて住んでいた街、通勤通学で毎日通り過ぎる街。身近な存在だけに意外と知らない圏域市町のイベントとおすすめ立ち寄りスポットをご紹介します!

9/28
(土)

本巣市

国史跡船来山古墳群里山ウォーク

里山を歩き、船来山古墳群の自然を体感してみませんか。景色も楽しむことができます。(参加無料、要申込、小雨決行)

◆集合場所:富有柿の里古墳と柿の館/時間:午後1時から約3時間
問合せ先:本巣市社会教育課 ☎058-323-7764



あわせて訪れたい! ~根尾谷地震断層観察館~

濃尾大震災で出現した、垂直に最大約6メートル、長さ約1キロメートルの断層崖「根尾谷断層」。国の特別天然記念物に指定されています。「根尾谷地震断層観察館」では、その一部を保存、展示しています。断層を実際に見て、地震について学びませんか。

◆場所:本巣市根尾水鳥512/時間:午前10時~午後5時(入館有料)/休館日:月曜日

9/29
(日)

山口市

ふるさと栗まつり2019

完売必至の地元産利平栗の販売や、栗のつかみどりをはじめ、利平栗発祥の地「大桑」ならではのおまつりです。

◆場所:四国山香りの森公園/時間:午前9時~
問合せ先:山口市まちづくり・企業支援課 ☎0581-22-6831



あわせて訪れたい! ~大桑城~

標高407.5mの古城山山頂一帯に構築された大桑城は、室町から戦国時代にかけて美濃、尾張、伊勢の3国の守護として権勢を誇った土岐氏の最後の拠点です。現在も山頂一帯の遺構や四国堀、斎藤道三との壮絶な戦いを物語る六万墓など、当時をしのばせる遺構が残っています。

◆場所:山口市大桑/散策自由

10/5・6
(土) (日)

岐阜市
第63回ぎふ信長まつり

岐阜の街の礎を築いた織田信長の偉業をたたえる秋のまつりです。「信長公騎馬武者行列」では、勇壮な時代絵巻が繰り広げられます。

◆場所:岐阜市中心市街地
問合せ:岐阜市役所広報広聴課 ☎058-214-2387



あわせて訪れたい! ~岐阜城跡(国指定史跡)~

最近の調査で、新たに金華山の中腹部や山上部で石垣群や巨石石組みが見つかり、その価値が見直されてきました。中でも、450年以上前からそのままの形で残っている山上部の石垣は必見です!

斎藤道三や織田信長が築いたとされる数々の石垣。現地で“本物”を体感してみませんか。
◆場所:岐阜市金華山一帯/散策自由

11/3
(日・祝)

瑞穂市
みずほふれあいフェスタ

ステージイベントや多彩な屋台が出店し、子どもからお年寄りまで楽しめる市内最大規模のイベントです。

◆場所:瑞穂市役所南庁舎/時間:午前9時30分~
問合せ:瑞穂市役所総合政策課 ☎058-327-4128



あわせて訪れたい! ~小簾紅園(市指定史跡)~

小簾紅園には、皇女和宮が降嫁のため呂久川をお渡りになった際に詠んだ和歌の歌碑があります。現在も、毎年春と秋の2回、和宮の遺徳をしのび例祭が行われています。

◆場所:瑞穂市呂久1350/秋の例祭:10月26日(土)

11/10
(日)

北方町
未来タウン北方ふれあいまつり

特産品の販売や、バザー、楽しいショーなどが開催され、子どもからお年寄りまで楽しめます。

◆場所:北方町防災公園/
問合せ:北方町役場都市環境課 ☎058-323-1114



あわせて訪れたい! ~円鏡寺(国重要文化財)~

弘法大師が弘仁2年に創建したという円鏡寺は、国の指定有形文化財である木造聖観音立像や楼門をはじめ、多数の文化財を保有しています。美しい景観の庭園や三重塔などもあり、北方町を代表するお寺の一つです。

◆場所:北方町北方1345-1/散策自由

1/26
(日)

岐南町
美術・芸能大会

伏屋獅子芝居保存会による獅子芝居のほか、さまざまなステージパフォーマンスや美術作品の展示などを行います。

◆場所:岐南町中央公民館(講堂)/時間:午前9時30分~(予定)
問合せ:岐南町役場総務課 ☎058-247-1331



あわせて訪れたい! ~旧宮川家住宅(県重要有形民俗文化財)~

濃尾大震災直後に建てられた旧宮川家住宅は、昭和54年に現在の場所に移築されました。かやぶきの農家建築で、保存状態がよく、明治中期以後から昭和30年代までの岐南町近辺の生活様式を知ることができる貴重な建築物です。

◆場所:岐南町平成7-38/時間:午前10時~午後4時/定休日:月曜日、毎月最終金曜日